



前津江

Maetsue



山の恩恵に感謝と安全祈願

4月24日、釈迦岳の麓にあるスノーピーク奥日田キャンプフィールド内の椿ドームで、「第55回津江山系釈迦連峰山開き」が開催された。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山の恩恵に感謝し、シーズン中の登山者の安全を祈願する神事のみが執り行われた。主催の山祭会議会長は「来年こそはコロナが終息し、多くの人に訪れていただきたい」と語った。



出野屋根付広場の開所式

4月16日、新型コロナウイルス感染症の影響によって規模縮小で開催された出野屋根付広場の開所式。平成24年に閉校した出野小学校の跡地に建設された同施設は、地域住民が雨の日でもゲートボール等を楽しめる仕様になっており、一般の人が自由に使えるトイレも設置されている。式典では市長から「地元の人たちの活気あふれるまちづくりのための新たな拠点にしてほしい」と、挨拶があった。

中津江

Nakatsue



満開の桜の下で

4月3日、桜が咲き誇る下笠公園で開催された「第32回蜂ノ巣湖桜まつり」。ステージイベントやダム湖遊覧体験のほか、下笠ダム堤内とコンジットゲートからの迫力ある放流の見学も実施された。好天に恵まれ、地域の子供から高齢者、通りかかった観光客も足を止め、イベントを楽しんだ。むらづくり役場の「月いちバザール」と、集落支援員の活動報告パネル展も同時開催され、賑わいを後押しした。



3年ぶり！老松様の的ほがし祭

4月15日、宮園津江神社で「老松様の的ほがし祭」が開催された。この祭りは、五穀豊穡と家内安全、無病息災を祈願するもので、県選択無形民俗文化財にも指定されている伝統行事。新型コロナウイルス感染症の影響によって3年ぶりの開催となった今年は、久々に集まった人たちが賑わった。神事のあと、氏子たちが手作りの弓矢で交互に的を狙い、みんなが平和に暮らせるように願った。



日田

Hita



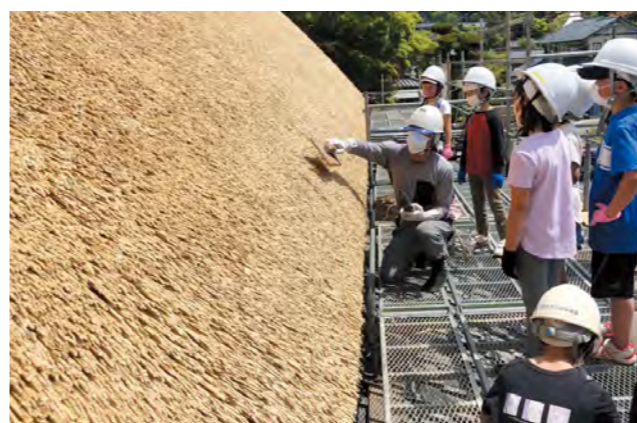
世界の名車が日田駅前に大集合

4月16日、「チェント・ミリアかみつえ2022」の第20回記念大会のスタートセレモニーが日田駅前で開催された。当日は、全国から集結した80台を超える世界の名車を一目見ようと、多くの人々が訪れた。駅前を出発した数々のクラシックカーは、豆田町や日田温泉街を颯爽と駆け抜け、オートポリスを経由し、ゴールとなる山鹿市八千代座を目指して約320kmに渡る2日間のツーリングラリーに繰り出した。



古墳時代にタイムスリップ！

4月10日、ガランドヤ古墳公園のオープンを記念して、1号墳の特別公開・ガイダンス棟の展示解説が行われた。歴史公園として整備していた同施設は、1次整備事業が完了し、3月27日から供用を開始。古墳を再現したコンクリートドーム内では装飾壁画を間近に見学することができ、来場客は1500年のときを越えて古墳時代の装飾壁画の世界を楽しんだ。



国の文化財「行徳家住宅」の修理に挑戦

4月22日、大明小学校の3・4年生が茅葺き屋根に茅を差し込む作業（差し茅）を体験した。この体験は、約30年ぶりに行われている行徳家住宅（夜明関町）の本格的な修理工事に際して、市が地域の文化財の普及啓発を目的に実施したもの。子供たちは屋根職人の説明に耳を傾け、普段は触れる機会がない金色の茅葺き屋根を前に目を輝かせていた。



白熱！水郷杯サップマイルレース

4月17日、三隈川で「第1回水郷杯サップマイルレース」が行われた。この大会は、三隈川の豊かな景色を未来へつなぎ、川と共に育った子供たちがいつでも帰って来られる場所であり続けることなどを目的に開催されたもの。全6種目の競技に子供から大人まで約160人が出場し、美しい晴天の下、選手たちはゴールを目指して熱いレースを繰り広げた。